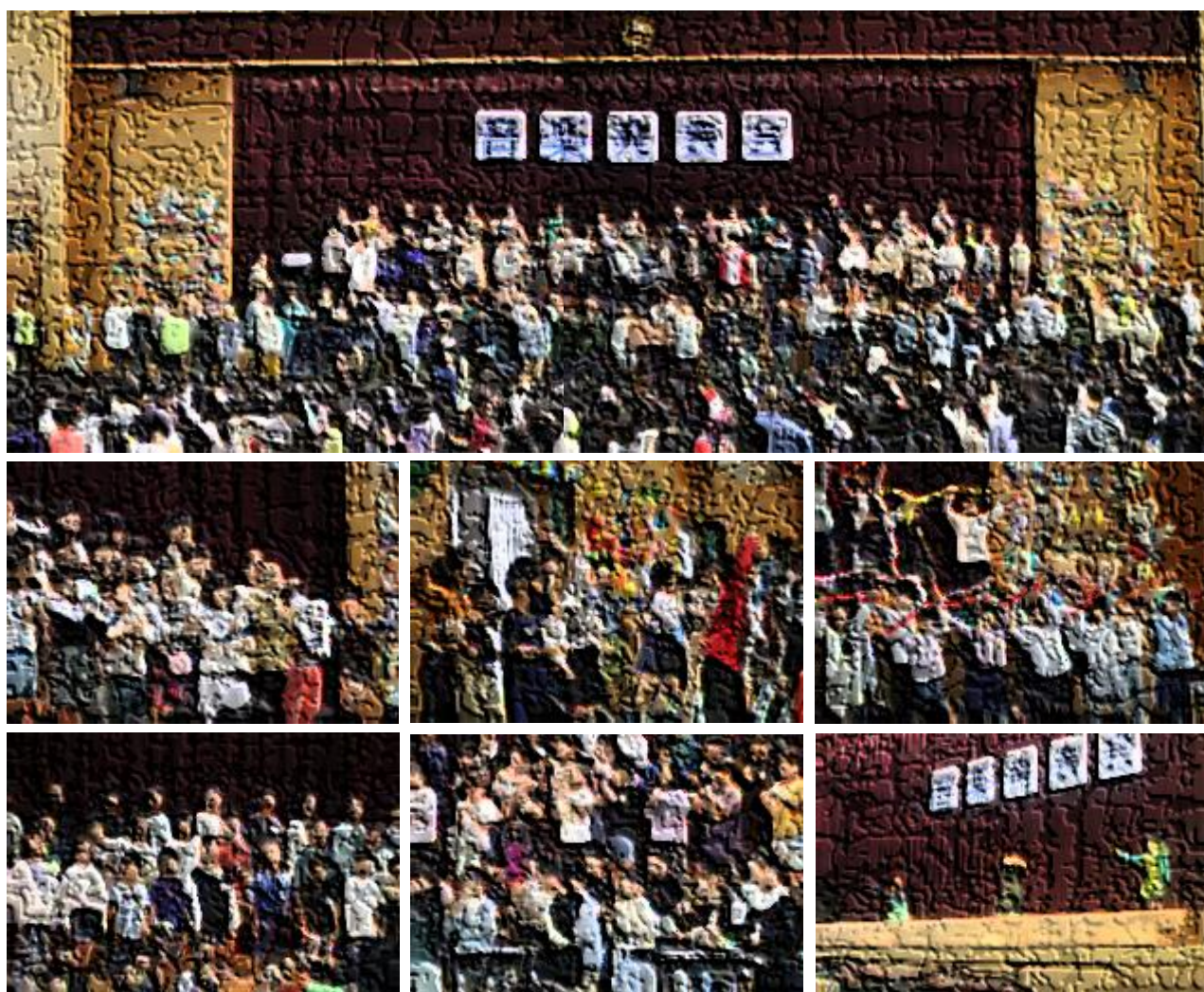


令和5年度

第4回学校運営協議会



「音楽発表会：11/10(金)」の様子

令和6年2月9日（金）14：00～16：30

浜松市立上島小学校

第5回学校運営協議会 次第

14:00~14:08 開 会 【司会：高橋 記録：清水】

- 1 会長あいさつ
- 2 校長あいさつ
- 3 議長の確認 ※前回の協議会にて選出済み
- 4 前回会議録確認

14:08~15:35 熟 議 【司会：議長】

- 5 熟議
 - (1) 学校評価と次年度への改善策等、及び学校関係者評価
 - (2) 令和6年度の学校運営の基本方針(案)
 - (3) 学校運営協議会委員の自己評価
 - (4) 令和5年度「夢育やらまいか事業」
 - (5) 「浜松市立上島小学校いじめ防止基本方針(案)」

15:35~15:58 【司会：高橋】

- 6 令和5年度の学校支援活動の報告(森園)
- 7 曳馬協働センター、浜松市教育委員会学校総務課地域連携Gより
- 8 連絡
 - ・令和6年度 第1回学校運営協議会について
 - ・委員の確認

16:00 閉 会

学校運営協議会での「熟議のルール」

★学校運営協議会とは？

学校運営と学校運営について必要な支援について協議する機関。そのため、学校運営についての熟議の充実がポイント！

★「熟議」とは？

多くの当事者（委員）による「熟慮（よくよく考えること）」と「議論」を重ねながら、課題解決を目指す対話をする。

★「熟議」のルール

- ◎ 他人の意見を尊重し、否定しない。
- ◎ できるだけ多くの方が発言できるようにする。
- 傾聴（目を見て、うなずいて、笑顔で、聴く）
- 発言は、分かりやすく、簡潔にする。
- 建設的（ポジティブ）な意見を言う。
- 他人の意見を参考に、どんどん発想をふくらませていく。
- 共感して考えが変わった場合には、そのことを伝える。



令和5年度 学校評価アンケート 前期・後期比較

50

前期より↑

50

前期より↓

※下線…80%未満

	児童				保護者				教職員			
	R4後期		後期		前期		後期		前期		後期	
質問内容	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない	あてはまる + だいたいあては まる	あまりあてはま らない +あてはま らない
1 子供たちは、気持ちのよいあいさつや、時と場に応じた言葉づかいをすることができている。	87%	13%	89%	11%	82%	17%	83%	16%	56%	44%	59%	41%
2 子供たちは、善悪の区別や公共のマナーを考えた生活をしている。			88%	12%	92%	7%	94%	5%	51%	49%	72%	28%
3 子供たちは、自分なりの目標をもち、運動や健康づくりに取り組んでいる。	86%	14%	88%	12%	76%	22%	74%	25%	79%	21%	72%	28%
4 子供たちは、健康や安全に気を付けて生活している。	87%	13%	94%	6%	87%	12%	87%	12%	74%	26%	47%	53%
5 子供たちは、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、学習に取り組んでいる。	87%	13%	87%	13%	81%	14%	81%	16%	85%	15%	88%	13%
6 子供たちは、学習や行事を通して、自分が「できるようになったこと」や「分かったこと」に気付いている。	85%	15%	90%	10%	88%	9%	88%	10%	82%	18%	81%	19%
7 子供たちは、楽しく学校に通っている。	90%	10%	89%	11%	93%	6%	90%	9%	97%	3%	100%	0%
8 子供たちは、「成長している」という思いをもっている。	87%	13%	90%	10%	88%	6%	88%	7%	90%	10%	84%	16%
9 子供たちは、自分のよさに気付いている。	86%	14%	89%	11%	76%	18%	77%	17%	79%	21%	75%	25%
10 子供たちは、周りの人のよさや成長を見つけている。	93%	7%	94%	6%	81%	13%	84%	11%	92%	8%	91%	9%
11 子供たちは、人の話を聞くことができている。	95%	5%	93%	7%	82%	17%	81%	17%	74%	26%	78%	22%
12 子供たちは、人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている。	90%	10%	91%	9%	92%	6%	91%	6%	92%	8%	94%	6%
13 子供たちは、自分の目標や自分で決めたことに向かって努力している。	90%	10%	93%	7%	78%	17%	76%	20%	90%	10%	91%	9%
14 学校は、子供たち一人一人を大切に指導・支援に努めている。(先生は、わたしが困っているときや分からないときに、助けてくれる。)	92%	8%	93%	7%	66%	33%	81%	9%	82%	18%	82%	18%
15 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。(わたしたちは、いじめをゆるさないクラスをつくっている。)			86%	14%	79%	11%	71%	7%	95%	5%	100%	0%
16 学校は、いじめに対して、迅速かつ丁寧に対応している。					73%	7%	57%	6%	97%	3%	100%	0%
17 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	96%	4%	97%	3%								
18 子供たちは、【(学年+1)×10分間】、家庭での学習に進んで取り組むことができている。(宿題(家庭学習)に進んで取り組んでいる。)			91%	9%	58%	8%	67%	32%			87%	13%
19 学校は、たよりやブログなどを通して、家庭に学校での様子がよく分かるように伝えている。					78%	15%	82%	13%	87%	13%	83%	17%

◎ 令和5年度学校評価アンケート集計結果より考察

<成果>

- ・ 「学校に楽しく通っている」を始め、児童アンケートでは、全ての項目で、9割前後の高い評価でした。学校、家庭、地域それぞれが上島小の児童の教育に前向きに関わり、児童の学校生活が充実していることを感じました。
- ・ 「人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている」が、保護者・児童ともに9割超えの高い評価でした。教職員アンケートにおいても、同様の結果でした。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」は、児童アンケートの中で一番高い数値でした。すべての教育活動の土台となる、学校経営目標「温かい学校風土の醸成」が、日々の学校生活を通して、学校、保護者、地域の力で定着しつつあることが分かりました。
- ・ 「気持ちのよいあいさつや、時と場に応じた言葉づかいをすることができている」の数値が、児童・保護者ともに年々少しずつ上がっています。学校における挨拶や言葉の指導、児童主体の挨拶運動などの取り組みに加え、保護者や地域の皆様の声掛けや励ましにより、特に挨拶に対する児童の意識が高まっていることを感じました。今後は、学校における挨拶や言葉遣いを身に付けるための指導・支援をさらに進めるとともに、地域や家庭と連携した挨拶を盛り上げるための取り組みを充実させていきたいと考えています。

<課題>

- ・ 「自分なりの目標を持ち、進んで運動や健康づくりに取り組んでいる」が保護者でやや低い評価が出ました。コロナは収束しつつあるものの、インフルエンザ等の感染症は未だ拡大傾向の時期もあります。感染症対策を踏まえつつも、スポーツイベント等、目標をもって健康づくりや体力向上に取り組むことができる活動を検討していきます。また、健康や安全を意識した行動や、生活習慣を身に付けるための具体策について吟味していきたいと考えます。
- ・ 保護者アンケート「学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる」「学校は、いじめに対して、迅速かつ丁寧に対応している」の評価が低い結果となりました。この2項目については、「分からない」と回答された保護者の方が特に多く見られました。いじめを防ぐ集団づくりやいじめが起きた際の初期対応について一層丁寧に進めていくとともに、学校としての取組や対応について保護者の皆様により分かりやすく周知・説明していく必要を感じました。
- ・ 「【(学年+1)×10分間】、家庭での学習に進んで取り組むことができている」が、保護者でやや低かったです。この項目については、昨年度よりやや低い評価が続いています。家庭学習のあり方や必要性について再度吟味し、内容の改善、学校と家庭の連携等についての具体的な方策を検討していきます。

<保護者自由記述>

◆「本校の子供たちの様子や教育活動における成果や課題」は、集約したところ、主として以下のような御意見がありました。

- 登下校や挨拶に関すること
- 学習活動や授業に関すること
- 情報の発信に関すること
- 学校行事に関すること
- 生活指導に関すること

◎ 令和6年度に向けて

- ◎ 学校経営目標「温かい学校風土の醸成と発達支援教育を核とした学校経営の推進」のもと、すべての教育活動の土台となる「温かな人間関係づくり」や「互いに認め合う学級・学年づくり」を進めていきます。
- ◎ 本校児童は、「目標に向かって主体的に取り組む」ことに課題があると考え、引き続き「かかわりの中で、自他のよさや成長を実感できる子の育成」を重点方針とします。「子供の出番>教師の出番」となるような主体性・自主性を育てる場を大切にしていきます。また、目標をもって運動に取り組む活動の場を設定し、児童の体力向上や健康づくりを進めます。
- ◎ 学校・家庭の連携・協力関係を一層深め、児童の望ましい成長を支えます。特に、いじめ対応や家庭学習等における共通理解を図り、よりよい生活習慣や学習習慣の定着を促すとともに、保護者同士のつながりづくりを進めます。また、地域の人材や事物など学校外の教育資源を活用しながら、本物に触れる体験活動を充実させるとともに、地域への愛着や親しみを育てていきます。